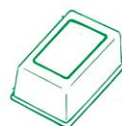
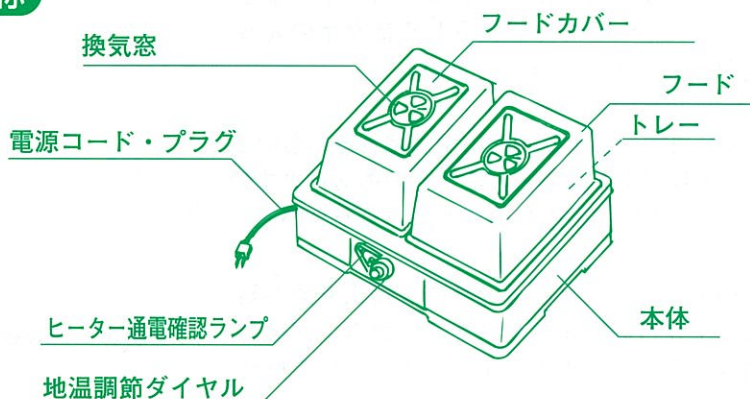
# 加温専用 PG-10　取扱説明書

このたびは家庭用発芽育苗器「愛・菜・花」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しい使用法のもとに末長くご愛用ください。なお、この取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

## 愛・菜・花の特長

・本体底部に内蔵されたヒーターで、地中（トレー内）から植物を温めます。温度コントロールはサーモスタットによって行われ、本体前面の地温調節ダイヤルを回すことで簡単に調節できます。
・フード（フードカバー）が地表の水分蒸発を防ぎます。
・フードカバーの開閉式換気窓により、湿度をコントロールすることができます。
また、フードカバー自体も取り外しが可能で、幼苗期の風よけや背丈のある鉢物の保温用としても使うことができます。

## パッケージの中に入っている物

必ず数量を確認してください。

## 各部の名称

## ご使用方法

≪全体の流れをつかんでから作業を進めてください。≫

☆ あると便利なもの

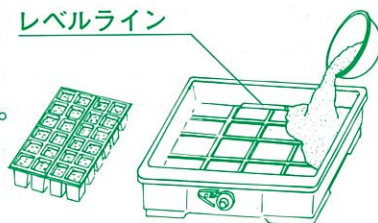
　・ジョウロ　　・噴霧器（ハンドスプレー）　　・トレーが入る大きめの容器

☆水や土を使いますので、できる限り屋外での作業が良いでしょう。

☆以下に示す方法は一般的な植物でのご使用方法及び作業手順です。植物によっては、以下の方法と異なりますので、園芸書などを読んでいただき、より適切な方法でご利用ください。

## 準備

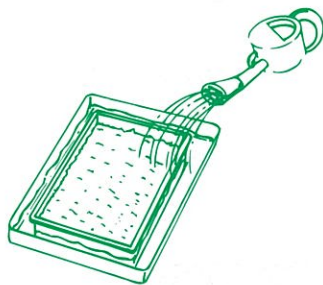
1 本体からの熱を無駄なくトレーに伝える為に**「砂」**を入れます。本体内壁のレベルラインがおおよその目安になります。約2ℓ必要です。砂は多少湿っていてもかまいません。砂を入れたら、平らにならしておきます。

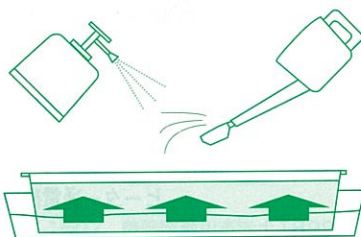
レベルライン

＊ 砂を多く入れるとトレーが浮きあがってしまうので注意してください。

2 トレーに用土を入れます。1トレー当たり約5ℓ必要です。（種の大きさにより**「角型5cm連結ポット」**などを使うと便利です。）

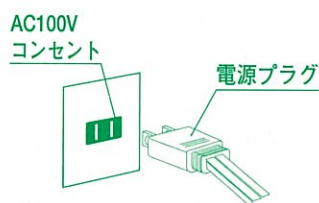
＊ 「タネまき用土」、「さし木用土」は、発芽時に栄養を必要としませんので、肥料などは配合する必要はありません。市販されている用土を使うと便利でしょう。

## タネまき

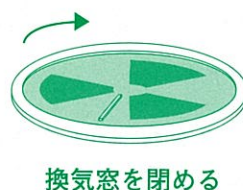
3 トレーに用土をほぼ縁いっぱいに入れ、ジョウロ等で全体にまんべんなく灌水します。底から水が出てきても土にしみていないこともありますのでよく確認してください。底面灌水もおこなえます。

4 しばらく放置して、トレーから水が垂れてこなくなったらタネをまきます。タネは**「大きさ」**、**「性質」**、**「品種」**等によりまき方が変わります。（タネが重ならない様にまくのがコツです。）詳しくはタネの入っていた絵袋や園芸書をお読みください。

5 つぎに覆土をします。覆土は一般に種が隠れるくらいですが、タネにより覆土を必要としないものもありますのでタネの入っていた絵袋や園芸書をお読みください。

6 5の作業が終了したら灌水を行います。覆土を落ち着かせるために上からの灌水がベストですがタネが微細のものは噴霧器等を使います。また、水につけて底面灌水も良いでしょう。

7 地温を測りたい場所に温度計を差し込み、トレーを本体にセットします。セットしたらフードを被せ、その上にフードカバーを載せます。

8 電源プラグを**「家庭用電源」**（ＡＣ１００Ｖ）に差し込み、6ページに示す**【加温性能表】**を参考に**「地温調節ダイヤル」**を回し、**「発芽適温」**、**「発根適温」**（タネの入っている絵袋や、参考書をお読みください）に地温を設定します。

9 設定温度によりますが、用土が温まるには２～３時間ほど掛かります。温まったら目的の地温になっているかどうか、温度計でチェックします。（サーモスタットの働きにより、ヒーターはＯＮ／ＯＦＦの動作を繰り返します。これに連動してヒーター通電確認ランプが点灯、消灯をしますが、故障ではありません。）
※当社ではミニミニ温度計５個セットを別売りしています。地温の管理に是非ご利用ください。

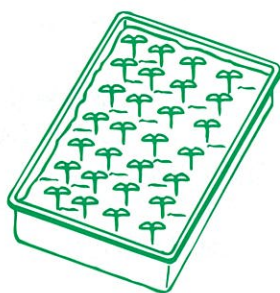
換気窓を閉める

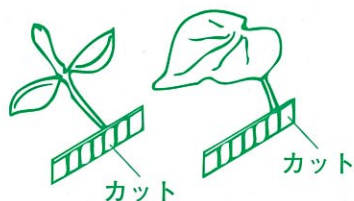
10 発芽するまでは換気窓を閉じておきます。発芽は早いもので２日、遅いものでは10日以上掛かるものもあります。日数が掛かる場合、表面を乾燥させないように適時灌水してください。

11 発芽したら、換気窓を開け湿度を下げて光を入れ**「徒長」**（苗の茎が伸びすぎてしまうことをいいます。）を防ぎます。ただし、植物によって徒長する環境が違いますので地温調節ダイヤルで地温調節をし、フードカバーを取り外すなどして日射量、湿度を調節してください。

12 発芽、発根までは肥料は必要ありませんが、発芽、発根してから定植までの期間は、液体肥料などで管理してください。肥料の与えすぎなどによる、根腐れ、肥料焼けに注意してください。

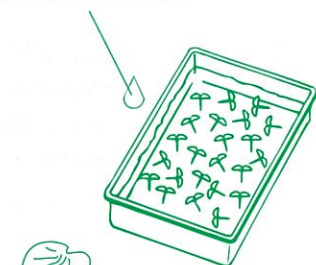
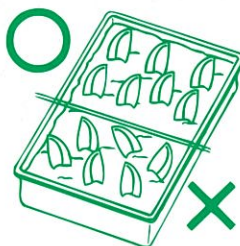
13 **「間引き」**を行うとよりよい苗が育ちます。奇形のものや生長点がないものを間引き、続いて苗の葉が重ならないように間引きます。残す苗を傷めないように気をつけてください。定植まで２～３回行うとよいでしょう。

14 **「順化」**を行います。定植の1～2週間前から徐々に定植をする場所と同じ環境に近づけてください。植物はデリケートなので急激な環境変化で枯れてしまうことがあります、そのために順化を必要とします。

15 **「定植」**とは、苗床から、花壇や鉢などに植え付けることをいいます。定植には温室やハウスなどに植える場合と、露地に植える場合がありますが、露地植えの場合は植物の定植時期を守ってください。また、定植用土は植物によって違いますので、絵袋や園芸書をご参考ください。

## さし木

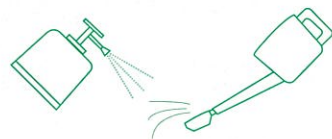
16 「さし木」は、**「葉」**、**「茎」**、**「根」**などを、さし床にさし繁殖させる方法です。植物によりさし穂を取るところや長さが変わりますので園芸書などをご覧下さい。ふ（斑）入り植物では、斑が消えることがあります。

17 1～3をお読みください。さし穂によっては用土に灌水しないほうがさしやすい物もありますので、園芸書などでご確認ください。

18 親株からさし穂を取りますが、さし穂がよいほど発根も早く、生育も旺盛で失敗も少なくなります。よく切れる薄刃のナイフをお使いになるとよいでしょう。また**道具は消毒する**ことをお勧めします。

19 さし穂が取れたら、さしやすい大きさにカットしてください。基部を斜めにカットするとより発根しやすくなります。

20 さし穂の準備が出来たら**「水あげ」**をします。水を入れたコップなどにさし穂を３０分～１時間つけておきます。このさい液体発根剤を規定量にうすめて水あげをするのも効果的です。粉の発根剤も市販されているのでご利用になると便利です。

21 トレーにさし穂同士があたらないくらいの間隔にさし木をします。葉ざしなどをした場合は葉の向きをそろえてさすと発根時期がそろいます。

22 20の作業が終了したら灌水を行います。さし穂と用土を密着させ、落ち着かせるために上からの灌水がベストですがさし穂が小さいものは噴霧器等を使います。また、底面灌水も良いでしょう。

23 7～9の作業をお読みください。

24 **「発根適温」**は一般に１５～２０℃ですが、熱帯性、亜熱帯性の草花は２０～２５℃と高めに設定します。植物により異なりますので園芸書でご確認ください。

25 強光は、さし穂の蒸散をうながし、しおらせてしまうため、一般には明るい日陰などで管理します。

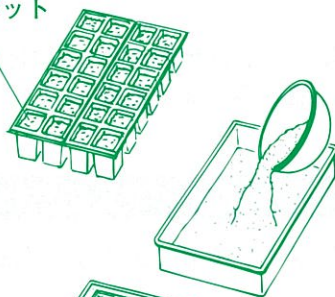
26 発根するまでは換気窓を閉じて湿度を高めておきます。発根は15日から1ヶ月以上掛かるものもあります。湿度を保つように適時灌水してください。

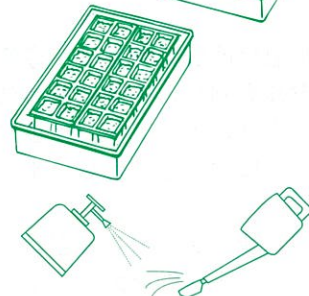
27 発根したら、換気窓を開け湿度を下げて光を入れます。植物によりますが、湿度が高い、光がない、などの条件で軟くなってしまうものがありますので地温調節ダイヤルでの地温調節や、フードカバーを取り外すなどして日射量、湿度を調節してください。

28 12～15をお読みください。

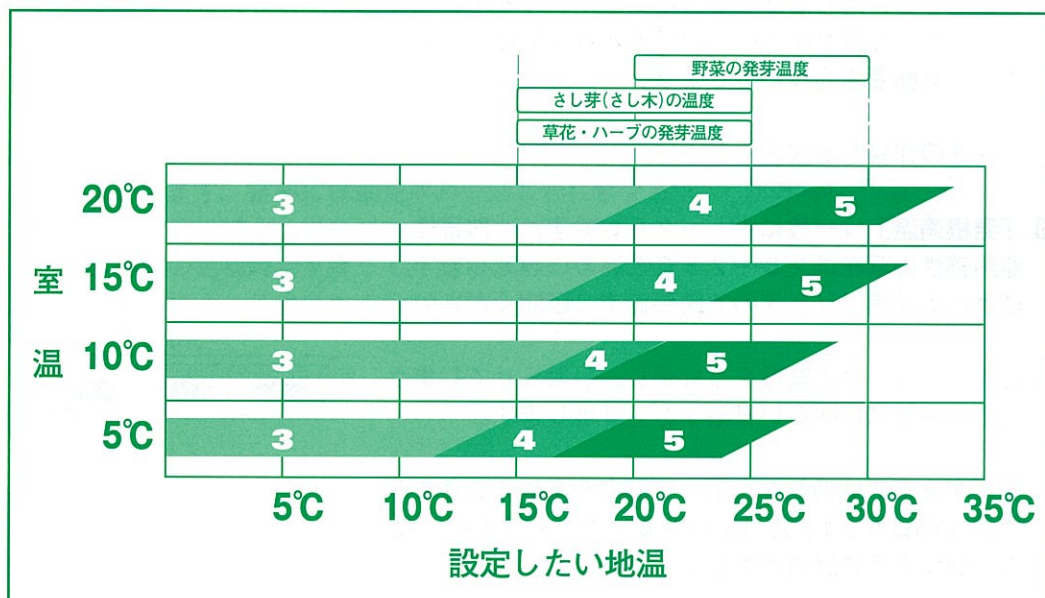
## 育苗ポット等使用時

29 1をお読みください。

30 市販の育苗ポットを、トレーに合うようにカットし、用土を入れます。**「角型５cm連結ポット」**をご使用になると、そのまま使えて便利です。

31 トレーに２～３cm程度砂を入れ平にならしておきます。（砂は多少湿っていてもかまいません。）

32 30で準備した育苗ポットをトレーにセットします。このさい、育苗ポットを１～２cm程度トレーの砂に埋め込みます。

33 灌水を行い、用土にしっかりと水をしみこませます。

34 タネまきは３～15を、さし木は16～28をお読みください。

## 加温性能表

＊この表は、環境条件によっては異なりますので参考としてください。

## ご注意

35 本製品はサーモスタットで地温をコントロールしていますが、構造上、室温が変化するとそれに伴い地温も変化します。あらかじめご了承ください。

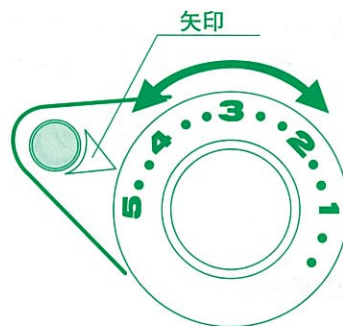
36 上の表は指定の混合用土をトレーに入れて使用した場合の加温能力を示しています。土の質や水分の量などによっては結果が異なる場合がありますので、温度計を用いて地温をチェックしてください。

37 上の表は地表から1cmの地温を測定したものです。構造上、トレー底部に行くほど地温は高くなります。

## 地温調節ダイヤルの合わせ方

38 ダイヤル部にある数字が加温性能表の線内にある数字を表します。

39 加温性能表の室温は、最低気温を目安に地温調節ダイヤルを回し、矢印にあわせます。発芽適温・発根適温、（タネの入っている絵袋や、参考書をお読みください）に地温を設定します。

40 地温調節ダイヤルを回してヒーター通電確認ランプがついたら作動を始めます。あとは目的の地温になるまで待ち、目的の温度より低かった場合、地温調節ダイヤルを上げ、高かった場合は下げて地温を調節します。

## アクセサリー（別売品）

☆PG-10用フードトレーセット（内容：トレー・フード・フードカバー）

☆ミニミニ温度計（地温計）5ヶ入

☆専用育苗ポット「ポットミニ」（27㎜・27穴30枚入）（41㎜・12穴30枚入）

## 安全上のご注意

1. 濡れた手で操作しないでください。

2. 灌水は本体からトレーを取り出して行ってください。

3. 本体が空の状態（砂を入れない状態）で通電しないでください。
   お使いにならない時には電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

4. 本体表面に亀裂や穴、破損等の異常があった場合にはただちに使用を中止してください。

5. 本体を分解したり、改造しないでください。

6. 電源コード・プラグに傷や破損のあるもの、または電源プラグ部分がゆるい場合は使用しないでください。

## お取り扱い上のご注意

1. 本品は屋内用です。屋外では使用しないでください。

2. 本品は園芸用品です。犬や猫などのペットの暖房用には使用しないでください。

3. ストーブ、その他暖房器具類のそばには置かないでください。本体やトレー・フード類が変形する可能性があります。

4. 本体及びトレー・フード類は樹脂製ですので、先のとがったものや硬いもので突いたり叩いたりしないでください。また、衝撃を加えないでください。

5. 本体のトレー受け面全体の耐荷重は約10kgです。使用に際しては必ずトレーを用い、本体への局所的な荷重は加えないでください。

6. お手入れに際し、シンナー・ベンジン等の有機溶剤は使わないでください。
   変形、変質、変色する恐れがあります。

7. 故意に水を掛けたりしないでください。故障の原因となる場合があります。

8. 本品には、サーモスタットとは別に、過度の温度上昇に対して働く安全装置が内蔵されています。ご使用中、万一、ヒーター部の温度が異常に上昇した場合、この装置が働いてヒーター部への通電を自動的に停止します。なお、この装置は自動復帰しませんので使用を中止し、修理を依頼してください。

9. ご使用にならない時は汚れを落としダイヤル目盛を５の位置にして冷暗所に保管して下さい。

## 汚れたときのお手入れ

※お手入れの前に必ず電源プラグを抜いてください。

1 本体や電源コード・プラグの汚れを落とすには、あらかじめ砂等の付着物をハケ等を使い静かに払い落とします。（先のとがったもので突いたりしないでください。）

2 台所用中性洗剤をぬるま湯に溶かしてタオル等を浸して絞り、汚れをふき取ります。ふき取った後は日陰で充分乾かします。（本体に直接水を掛けないください。）

3 トレー、フード、フードカバーは台所用中性洗剤を用い丁寧に水洗いしてください。（この場合、市販の研磨剤は使わないでください。キズが付くことがあります。）

**上記の汚れ落としにはシンナー・ベンジン等の有機溶剤は使わないでください。**

## 仕様

| | |
|---|---|
| 名称 | 家庭用　発芽・育苗器（屋内用） |
| 形式 | PG-10（愛・菜・花） |
| 定格電圧 | AC100V |
| 定格消費電力 | 50W |
| 安全装置 | 電流ヒューズ0.8A・温度ヒューズ102℃ |
| 外形寸法 | 幅54cm×奥行40.5cm×高さ19cm（ダイヤル、コードの突出部含む） |
| 電源コード | 長さ1.3m |
| 重量 | 2.2kg |
| 材質 | PP（ポリプロピレン） |
| 使用環境温度 | 0～40℃ |

## 保証書

| | | |
|---|---|---|
| ※ | お買上げ日 | 年　月　日（出荷案内書・レシートがお買上げ日の証明になります。） |
| お客様 | お名前 | |
| | ご住所 | |
| | 電話 | |
| ※販売店 | 店名・住所・電話 | |

ご販売店様へ　※印は必ず記入してください

品名 愛・菜・花
形式 PG-10
保証期間 本体
お買い上げ日から1年

○保証規定

正常な使用状態のもとで、保証期間内に万一故障が発生した場合には無料で修理いたします。ただし、下記事項に該当する場合には無料修理の対象から除外します。

①：取扱説明書と異なる不適当な取り扱い・使用による故障。
②：不当な修理や改造に起因する故障。
③：お買い上げ後に落とされた場合などによる故障・損傷

この保証書は本書に明示した条件のもとにおいて無料修理を約束する物です。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限する物ではありません。もし、修理やアフターサービス等についておわかりにならない時は弊社お客様相談室にお問い合わせください。

昭和精機工業株式会社
〒437-1507　静岡県菊川市赤土1899-1
TEL 0537-73-5120　FAX 0537-73-5121
URL http://www.showaseiki.net

1101